

令和2年度 第3回弘前市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

- 日時 令和3年3月1日（月）13時30分～15時00分
- 場所 弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室
- 出席者 内山委員、阿保委員、田澤委員、佐藤（八）委員、佐藤（陽）委員
小田桐委員、小館委員、藤岡委員、椛澤委員、三橋委員、太田委員、安東委員、
- 欠席者 米谷委員、渡部委員
（委員14名のうち12名出席）
- 事務局 森岡市民生活部長、福士環境課長、高橋上下水道部総務課長
山内環境課長補佐
佐藤資源循環係長、藤田廃棄物政策係長、
成田廃棄物政策係総括主査、齊藤廃棄物政策係主事

○内 容

1 開 会（進行：山内環境課長補佐）

2 部長挨拶

3 会 議（進行：内山会長）

（1）【案件1】弘前市一般廃棄物処理基本計画改定について

①パブリックコメントの結果等（報告）

②答申案（審議）

⇒事務局から【資料1・2】の説明をし、答申案について審議を行った結果、答申案のとおり承認された。

質問・意見等

・実質リサイクル率算出のうち、弘前市のごみ排出量割合66%の根拠は。

→国の平成30年度一般廃棄物処理事業実態調査の弘前圏域のごみ総排出量のうち、弘前市のごみ総排出量の割合で算出。

（2）【案件2】令和2年度廃棄物施策の実施状況について

⇒【資料3】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

・「ミニ・キエーロ」は冬場に分解能力が落ちるので、冬場は電動式生ごみ処理機の貸し出しを増やすなど工夫はできないか。

→電動式生ごみ処理機は、台数に余裕はあるが、需要に波があり、現在の運用が適

度であると考えているため、これとは別に冬場でも身近に運用できるようなアイテム、施策を検討していきたい。

(3) 【案件3】 令和3年度弘前市一般廃棄物処理実施計画について

⇒【資料4】について事務局から説明を行った。

質問・意見等

・令和7年度の目標達成に向けて、例えば消費期限の近いものから消費を促す、「手前取り」など新しい施策もどんどん取り入れていただきたい。

→市内のスーパー等の協力を得て、「手前取り」のポップを食品棚等に掲示する取組を現在進めている。

・マイバッグは浸透しているが、マイ容器持参も当たり前になるよう周知啓発をしていただきたい。

→来年度予算審議中ではあるが、来年度、食品ロス削減も含めた、マイ容器等の利用を推進する仕組みを検討している。

・ごみ出しサポートは上手く回っているのか。件数が増えても大丈夫か。

→冬になると申請が増える傾向にあったため、来年度備えて、車両等の体制の強化を図っており、十分に対応可能。

・リユースもリサイクルも品質保持のためには、排出元の分別が最も重要なので、啓発を継続して行って欲しい。

・リサイクル率を上げるためには、プラスチックの分別回収をそろそろ検討すべき。

→現在国で協議が進められている、プラスチックごみ一括回収の動向を見ながら、検討していきたい。

4 課長挨拶

5 閉 会（進行：山内環境課長補佐）

○資 料

・【資料1】パブリックコメントの結果等について（報告）

・【資料2】答申案（審議）

・【資料3】令和2年度廃棄物施策の実施状況について

・【資料4】令和3年度弘前市一般廃棄物処理実施計画について

・【別 添】「弘前市一般廃棄物処理基本計画改訂素案【第3次】」、

「弘前市一般廃棄物処理基本計画改定資料編」、

「令和2年度文京地区のごみ減量チャレンジ（書面開催）報告書」、

「なごみ生活」

○公開・非公開の区分 「公開」